

新年のご挨拶

2024年 謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は皆様方よりご高配を賜り誠にありがとうございました。

本年も変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

さて、本連盟も今年で45周年を迎えることが出来ました。これも一重に皆様方のご理解とご協力のお陰と深く感謝しております。これまで本連盟に携わって頂きました関係者並びにOBの皆様を重ねて厚く御礼申し上げます。

昨年度の連盟の活動ではコロナ禍が明けたこともあり、「緑の甲子園」の個人戦最終日が雷雨のため短縮競技となったものの、主要大会（緑の甲子園・マッチプレー・春高春中ゴルフ）の全てを無事に開催することが出来ました。

各大会の冠スポンサーとして春高春中共催の三木市様、マッチプレー共催のISPS様に続いて昨年度より「緑の甲子園」の協賛にスカイ株式会社様に就任して頂き、益々充実した大会を開催することが出来るに至っている事は記憶に新しいところでございます。

一方ジュニアゴルフ界は競技人口の減少が顕著に見られ、大きな心配事となっております。本連盟はゴルフという素晴らしいスポーツを通じて「青少年の健全な育成」を目標に45年を歩んで参りました。ゴルフの普及には未だ様々な問題を抱えておりますが、「ジュニアゴルファーが将来のゴルフ界を背負っている。」ことにどうかご理解をいただき、益々のご支援、ご協力をお願いする所存でございます。

本連盟は創設以来『緑の甲子園』の「団体戦」を最重要視して参りました。本来個人スポーツであるゴルフを対抗戦（団体戦）にすることにより個人戦にはない「フォア・ザ・チームの精神」を育むことにより教育的意義を高めたいと考えたからです。本年は原点に戻り、今一度「団体戦」の意義を考えて参る所存でございます。

また「個人戦」の67回の歴史を振り返りますと、男女とも数々の有名プロゴルファーの名前が成績表に刻まれており、本連盟の主催大会がいかにゴルフ界に大きな影響を与えてきたかを垣間見ることが出来ます。今後これらの大会の歴史や意義をゴルフ界のみならず多くの方々に伝えて参る責務があると考えております。

最後になりましたが、本連盟はこれからも「ゴルフを通して皆様に愛され信頼される人材」を育てていく所存でございます。本年も引き続きご理解とご支援、ご鞭撻を賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

一社団法人

日本高等学校・中学校ゴルフ連盟

ジュニアゴルフクラブチーム連盟

理事長 井上 尚彦